

静岡福祉大学子ども学部に 小学校教諭養成課程が誕生!

静岡福祉大学 子ども学部子ども学科の
小学校教諭養成課程の特長は3つ!



1. 「心理」と「福祉」を学べる

小学校教諭の養成課程に加え、「心理」と「福祉」を学べるのは福祉の大学ならではの。この2つの分野を学ぶことで、幼児期から児童期の心身の発達度合いに合わせた適切な対応ができる教員をめざします。また、発達障がい児など気になる子どもへの対応についても学べます。

2. 幼稚園から小学校へ「学び」のつながりを視野に入れたカリキュラム

近年、幼稚園・保育園と小学校の連携の重要性が高まっています。幼稚園・保育園から小学校にかけて、発達・学びの連続性が保たれるよう、様々な取り組みがなされています。本学では幼稚園教諭免許状に加え、小学校教諭免許状も取得することで、幼児教育について十分に理解した小学校教諭をめざします。

3. 表現する能力を高める教育

静岡福祉大学では、音楽や造形、運動遊びなど、「表現力」を養成する授業に力をいれています。学生たちがミュージカルをイチから作り上げたり、ハロウィンでは商店街で課外授業をしたり、焼津市と連携した子育てイベントを開催するなど、在学中から表現力を高めるプログラムを用意します。

さらに――

強かに教員採用試験のバックアップをします

静岡県の小学校はほとんどが公立です。各自治体の採用試験に合格するためには継続的な学習が必要です。静岡福祉大学では勉強する仕組みづくりに力を入れ、チャレンジする学生を強かにバックアップします。

毎月、子どもたちが参加する「わんぱく寺子屋」イベントを開催しています。

静岡福祉大学地域交流センターでは、毎月多くの子どもの参加する「わんぱく寺子屋」を開催しています。キャンパスをフィールドとして、日ごろから多くの子どものために触れる絶好の機会です。

小学校教員の魅力とやりがい

日々、伸びていく子どもたちの成長と笑顔に学ぶ

●子どもたちの成長を見守ることができる

小学校教員は子どもたちの成長を間近で見ることができます。昨日まで、まったくできなかったことが今日にはできるようになっていることもあります。小学生年代の子どもたちは吸収力が高く、教わったことをぐんぐん吸収して育っていきます。

●子どもたちの笑顔に接することができる

子どもたちが遊んでいる時の笑顔や、わからなかったことが分かった瞬間などに見せる表情は教員に元気を与えてくれます。子どもたちの屈託ない笑顔はかわいいものです。小学生時代の環境はその後の成長に大きな影響を及ぼします。責任が重い一方、やりがいはとても大きいものです。

小学校教員の仕事

小学校教員は毎日、どのように過ごしているのでしょうか？



出典：文部科学省作成『教員をめざそう！』

小学校教員は担任を持ち、全教科を担当します。それだけ子どもたちとの関わりは密なものになります。また、クラス運営や授業準備、書類作成など、教える以外の仕事分野でも活躍が期待されています。

小学校教員は責任が重い仕事です。それだけに、やりがいもあります。とりわけ、小学校の6年間の「伸びしろ」には素晴らしいものがあります。そんな子どもの成長を目の当たりにできるという魅力は小学校教員ならではの。あなたも小学校教員をめざしませんか。

お問い合わせ先

〒425-8611 静岡県焼津市中根 549-1



静岡福祉大学 入試課

TEL 054-623-7451 Mail siryo@suw.ac.jp



最新情報はHPへ